



「インフラ分野のデジタルツイン」講演会

主 催：（一財）災害科学研究所
後 援：（公社）土木学会 本部、関西支部
（予定）（公社）地盤工学会 関西支部、関東支部
（一社）建設コンサルタンツ協会 本部、近畿支部
（一社）日本建設業連合会 関西支部
（一社）関西地質調査業協会、関東地質調査業協会
土木学会CPD4.0単位

（一財）災害科学研究所では、「AIの土木分野への応用」講習会（2018年11月於大阪）、「AIのインフラ分野への応用」講習会（2019年9月於東京・大阪）を開催し、インフラ分野におけるAIの基礎と具体例を学んで頂きました。さらに、「インフラ分野におけるDXーAI活用からDX推進へー」講演会（2021年11月オンライン）、「インフラ分野におけるDXー変革に向けてー」講演会（2022年9月オンライン）、「インフラ分野におけるDXー現在地を探る2023ー」講演会（2023年11月オンライン）を開催し、DXの世界的な流れや実績・課題とインフラ分野における具体的なデジタル技術の活用と課題について認識して頂きました。

周回遅れと評価されていた日本は、猛烈なスピードで企業のデジタル化を進め、社会へ実装する段階に進みつつあります。デジタル化の先にあるDXの恩恵を真に受けるためには社会変革が必須とされており、将来のDX最終形の一つとして「デジタルツイン」が注目され、社会実装の為に環境整備が進められています。

今回の講演会では、大学、デジタルツイン技術を提供する主要な企業、DXを進める建設企業から講師を迎えて、実例をもとに「最先端のデジタルツイン」、「インフラ分野への適用」、「デジタルツイン構築時の課題」などの講演を頂き、デジタルツインの現状を探ります。また、最先端のデジタルツインから見えてくる明日の姿、DXの最終形を共有させて頂きます。

本講演会を通じて、皆様にDXの最終形を実例に沿って把握して頂くと共に、現状のDXを再認識して頂き、実務適用を促進して頂ければ幸いです。奮ってご参加頂きますようお願い申し上げます。

記

□日 時： 2024年6月7日（金） 13：00～17：25

□会 場： オンライン（ZOOMウェビナー）

□定 員： 300名

□プログラム： 司会 災害科学研究所 研究員 林 健二
13：00～13：10 はじめに 災害科学研究所 理事長 松井 保
13：10～13：40 「インフラ分野のデジタルツイン」 大阪産業大学工学部 教授 小田和広
13：40～14：10 「シミュレーション駆動型のデジタルツイン」 神戸大学名誉教授 飯塚 敦
14：10～14：40 「デジタルツインによるインフラDXの現状」 オートデスク株式会社 アジア太平洋地域土木事業開発部 統括部長 福地良彦
14：40～15：10 「鹿島建設のデジタルツイン」 鹿島建設株式会社 土木管理本部 土木技術部 BIM/CIM推進グループ 前田宗宏
15：10～15：40 「清水建設のデジタルツイン」 清水建設株式会社 土木企画室 デジタル戦略推進部 柳川正和
15：40～15：45 休憩
15：45～17：15 パネルディスカッション「インフラ分野のデジタルツイン」
コーディネーター： 大阪産業大学工学部 教授 小田和広
パネリスト： 神戸大学名誉教授 飯塚 敦
オートデスク株式会社 アジア太平洋地域土木事業開発部 統括部長 福地良彦
鹿島建設株式会社 土木管理本部 土木技術部 BIM/CIM推進グループ 前田宗宏
清水建設株式会社 土木企画室 デジタル戦略推進部 柳川正和
17：15～17：25 おわりに 災害科学研究所 研究員 坂上敏彦

- ※ 各講演に対するQ&Aは、パネルディスカッションで対応します。
- ※ 講演時間、講師等は状況により変更となる場合があります。

■ テキスト：開催3日前頃に、入金確認できた方にダウンロードURLをメール配信します。

■ 参加費：4,000 円

■ 参加申込み：下記URLよりお申し込みください。申込締切り日：5月28日（火）

<https://forms.gle/TLXR7voP4wA642L87>

※個人情報、当法人が実施・共催を行う事業・会合等の情報提供以外には使用いたしません。

■ 振込先： 三菱UFJ銀行 中之島支店
普通1040798 一般財団法人 災害科学研究所
ザイ) サイガイカガクケンキュウシヨ

■ 問合せ先：（一財）災害科学研究所
E-mail：saiken@csi.or.jp TEL：06-6202-5602

■ 補 足

- ・ 開催中止の場合を除き、お振込み後の返金はいたしかねますので予めご了承ください。
- ・ 出席者の変更は可能です。
- ・ 動画のスクリーンショット・録音・録画・二次利用等は禁止いたします。

■ 土木学会認定 CPD プログラムの受講証明書についての留意事項

- ・ 参加申込み受付と同じ氏名で講演会当日に受講されたことを確認します。
- ・ 受講して得られた所見（学びや気付き）を 100 文字以上で主催者「災害科学研究所」へご提出いただく必要があります。所見の書式は自由です。
- ・ 土木学会以外の団体に受講証明書を提出する場合の方法等は提出団体先に事前にご確認ください。他団体が運営する CPD 制度に関する内容については回答いたし兼ねます。

以上